

## 5月12日：午後の取引で勢いが戻り、VN指数は反発

朝方はもたつく場面が多かったが、午後に入り多くの銘柄が上昇した。その一方で外国人投資家は引き続き売り越した。

ホーチミン市場の主要指標であるVN指数は1.04%（13.05ポイント）高の1,269.09ポイントで取引を終えた。場中では1,249.18ポイントの安値を付ける場面もあった。

騰落別では309銘柄が上昇し、102銘柄が下落した。51銘柄は変わらずだった。

出来高は高水準となり、売買高は6億7,120万株を超え、売買代金は19兆7,800億ドンとなった。

「VN指数は今後1,275ポイント付近の上値抵抗線で一進一退が続くことが予想される」（バオベト証券）

「同指数は再度上値抵抗線を試すだろうが、その前にいくつか売りが出る可能性がある」（同社の顧客向けデイリーレポート）

「概して1,200ポイントの上で下値を固めようと株価は引き続き横ばいで推移する可能性がある」（同社）

「我々は投資家に自身のポートフォリオの35～40%の比率で株式を所有し、中期的な保有を勧める」（同社）

「仮に1,200～1,220ポイント付近で売りが出るか、また1,275～1,285ポイントの上値抵抗線をうまく上抜けた場合、投資家は短期的にロングポジションを取ることを検討すべきだ」（同社）

多くの大型株の株価上昇はマーケット回復の大きな原動力となった。ホーチミン市場の大型株上位30銘柄で構成されるVN30指数は1.54%（20.98ポイント）高の1,380.17ポイントで取引を終えた。

同指数採用銘柄のうち、26銘柄が上昇、3銘柄のみ下落し、1銘柄は変わらずだった。

銀行株はマーケットの上昇を牽引し、中でもテクコムバンク (TCB) は 4.79% と最も上昇した。

他の銀行株の買いも目立ち、サコムバンク (STB) が+7%とストップ高を付け、ヴィエティンバンク (CTG) が+1.81%、VP バンク (VPB) が+1.59%と堅調だった。

素材関連株も大きく買われ、中でもベトナムゴム工業グループ (GVR) は 7%近く上昇した。マサングループ (MSN) が+2.46%、ホアファットグループ (HPG) も +1.13%とともに値上がりした。

一方でビンググループ (VIC)、ベトコムバンク (VCB)、ビンホームズ (VHM) は売られ、マーケット上昇の重しとなった。

ハノイ市場では、HNX 指数が 0.92%高の 282.33 ポイント。売買高は 9,230 万株以上で、売買代金は 2 兆ドン近くとなった。

その一方で外国人投資家は引き続き両市場 (ホーチミン、ハノイ市場) で計 5,667 億ドンを売り越した。

売り越し額はホーチミン市場で 5,661 億 3,000 万ドン、ハノイ市場で 105 億 7,000 万ドンとなった。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。